ScienceX

蓄電所の市場ノート 2026 年 4 月号

サイエンスエックス株式会社　発行 2026 年 11 月 5 日

「系統用蓄電池」（送電網につないで、電気をためて出し入れする大きな電池）は、電気の余りや不足を直す「力」を売り、電気の値段が時間によって変わる差も使って働きます。このノートは、公表されている数字と当社の記録から、今月の動きを図と表でお伝えします。この号は、2026 年 11 月にさかのぼって作ったバックナンバーです。接続検討の集計は、作った時点（2026 年 10 月 19 日）のものです。

1. 蓄電所の 3 つの稼ぎ口（このノートの読み方）

蓄電所（系統用蓄電池）の収入は、3 つの市場から入ります。①需給調整市場（EPRX）は、電気の余りや不足を直す「力」を送配電会社に売る市場。②卸電気（JEPX）は、安い時間に電気を買ってため、高い時間に売る市場。③容量市場（OCCTO）は、将来の電気の供給力を国が前もって買う市場です。このノートは、この 3 つの順に数字を並べます。節の題の頭の①②③が、どの市場の話かを示します。

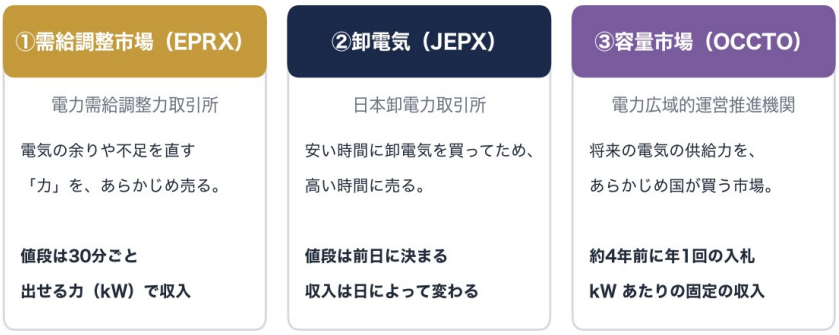


図 1　蓄電所の 3 つの稼ぎ口

出典: 日本卸電力取引所（JEPX）・電力需給調整力取引所（EPRX）・電力広域的運営推進機関（OCCTO）の制度。

2. 今月の動き３つ

３つの市場の数字から、今月の動きを３つ選びました。

・需給調整市場（EPRX）では、一次調整力（オンライン）の今月の応札倍率が 74.3%で、100%を超えた月はまだ無く、平均落札価格は 4.27 円/kW・30 分でした。

・需給調整市場（EPRX）では、三次調整力②の売上の上位 10%のコマに、月の売上の 60.2%が集まりました。

・卸電気（JEPX）では、2026 年４月の高い４時間と安い４時間の値差の月平均が、東京で 23.12 円/kWh、九州で 13.02 円/kWh でした。

3. ① 需給調整市場（EPRX）｜７つの商品と、エリアごとの値段

需給調整市場は、電気の余りや不足を直す「力」を、送配電会社が 30 分ごとに買う市場です。商品は、指令を受けてから出力を変えるまでの速さで分かれます。一次調整力がいちばん速く、三次調整力②がいちばんゆっくりです。一次調整力には、送配電会社と専用線でつなぐ「オンライン」と、専用線を引かずに簡易指令システムで動く「オフライン」の２つの枠があり、別々に募集・取引されるので、分けて示します。複合商品は、複数の商品をまとめて出す札です。値段は、出せる力 1kW・30 分あたりの円で決まります。kW は出せる電力の大きさの単位で、電気の量を表す kWh とは別です。30 分ごとの取引の１回分を「コマ」と呼びます。図は、エリアごと（電源のあるエリア別）の落札価格の幅です。細い線は１か月でいちばん安い札からいちばん高い札まで、太い帯は落札のあったコマの 10 コマのうち８コマが入る値段の幅、点は平均落札価格です。全国の数字は「市場の数字」の節の表にあります。

需給調整市場の電源のあるエリア別の平均落札価格は、いちばん高いのが三次調整力②の東北で 10.06 円/kW・30 分、いちばん安いのが三次調整力②の四国で 0.37 円/kW・30 分でした。

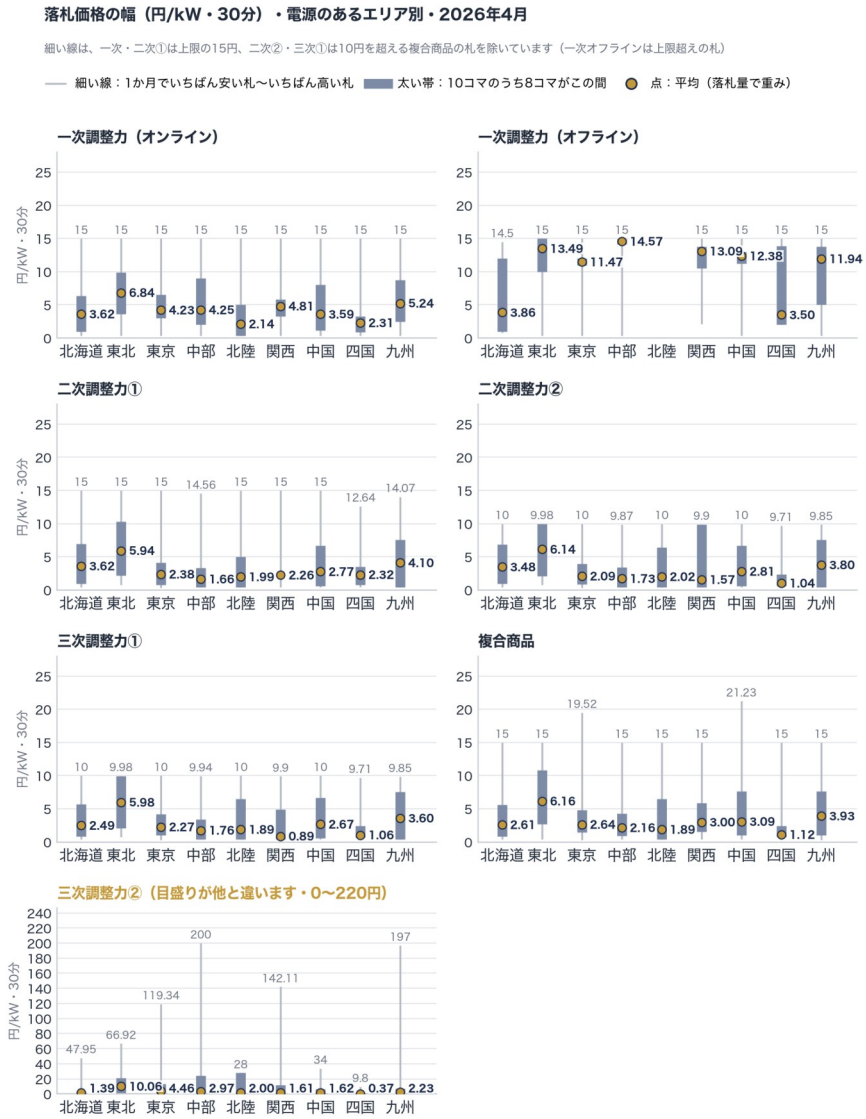


図２　需給調整市場のエリアごとの落札価格の幅と平均（2026 年 4 月（1 日〜30 日）・電源のあるエリア別）

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）。当社集計。

商品	指令から出力を変えるまで	続ける時間
一次調整力（オンライン）	10 秒以内	5 分以上
一次調整力（オフライン）	10 秒以内	5 分以上
二次調整力①	5 分以内	30 分
二次調整力②	5 分以内	30 分
三次調整力①	15 分以内	30 分
三次調整力②	60 分以内	30 分
複合商品	組み合わせた商品の要件	組み合わせた商品の要件

© Science X Inc. ・ https://www.scix.co.jp

4. ① 需給調整市場（EPRX）｜札が落ちやすい管区と時間

約定率は、応札した量のうち落札された量の割合で、高いほど出した札が落ちやすいことを表します。図は、管区（電源のあるエリア）ごとに、商品ごとの約定率を 1 日の時刻（30 分ごと）で描いたものです。線が途切れている時刻は、応札がありませんでした。

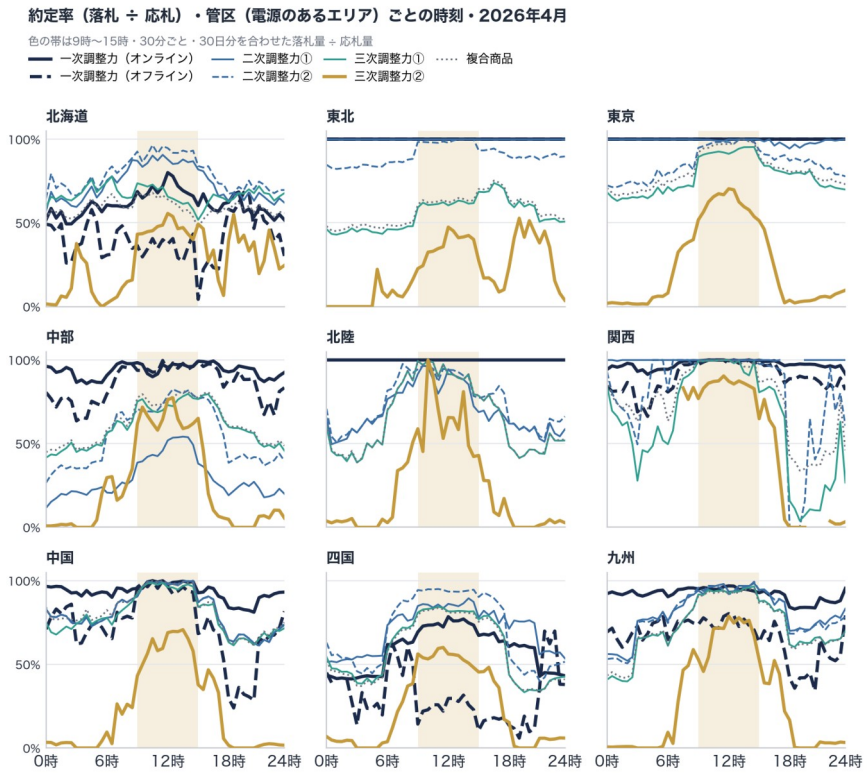


図 3　需給調整市場の約定率（管区（電源のあるエリア）×時刻・2026 年 4 月（1 日〜30 日））

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）。当社集計。

5. ① 需給調整市場（EPRX）｜一次調整力の席は、どのくらい埋まっているか

一次調整力は、指令から 10 秒以内に出力を変える、いちばん速い商品で、蓄電池がよく使われます。左がオンライン、右がオフラインの枠です。棒は応札倍率（応札した量÷送配電会社が募集した量）で、100%を超えると、募集より多くの札が集まり、落とされる札が出ます。棒は、応札が増えても、募集が減っても高くなります。線は平均落札価格です。手元にある 2025 年 4 月からの月ごとの数字です。

需給調整市場の一次調整力（オンライン）は、今月の応札倍率 74.3%（100%を超えた月はまだ無し）、平均落札価格 4.27 円/kW・30 分で、募集量は 2025 年 4 月 3,066.1MW、今月 1,598.4MW です。一次調整力（オフライン）は、今月の応札倍率 30.9%、平均落札価格 12.29 円/kW・30 分で、募集量は 2025 年 4 月 1,122.5MW、今月 500.6MW です。

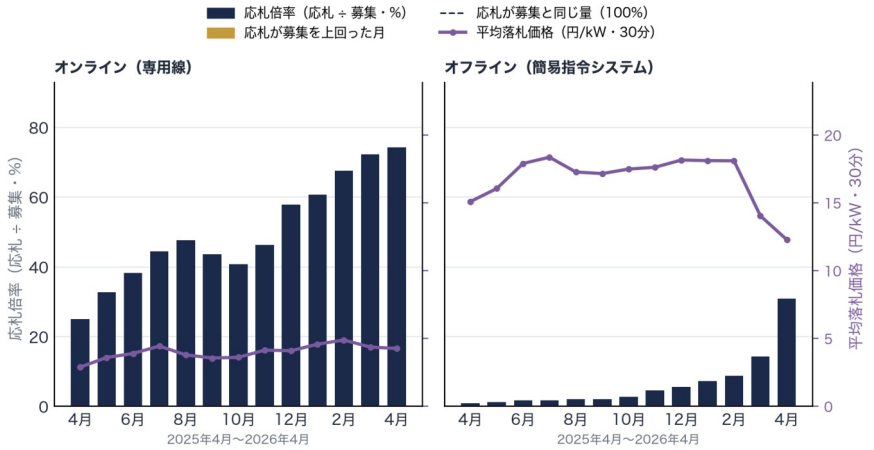


図 4　一次調整力の応札倍率（棒）と平均落札価格（線）（月ごと。左がオンライン、右がオフライン。金の棒は応札が募集を上回った月）

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）。当社集計。

6. ① 需給調整市場（EPRX）｜商品ごとの値段は、こう動いてきた

2025 年 4 月からの、商品ごとの平均落札価格（落札量で重みを付けた月平均）です。2026 年 3 月 14 日から、一次〜三次①と複合商品は、3 時間ごとの取引が 30 分ごとの取引に変わりました（三次②は前から 30 分）。

需給調整市場の一次調整力（オンライン）の平均落札価格は、2025 年 4 月 2.89 円、今月 4.27 円で、いちばん高かったのは 2026 年 2 月の 4.90 円（円/kW・30 分）です。三次調整力②は 2025 年 4 月 1.12 円、今月 3.03 円（円/kW・30 分）で今月がいちばん高く、ほかの商品のいちばん高かった月は 2025 年 7 月でした。

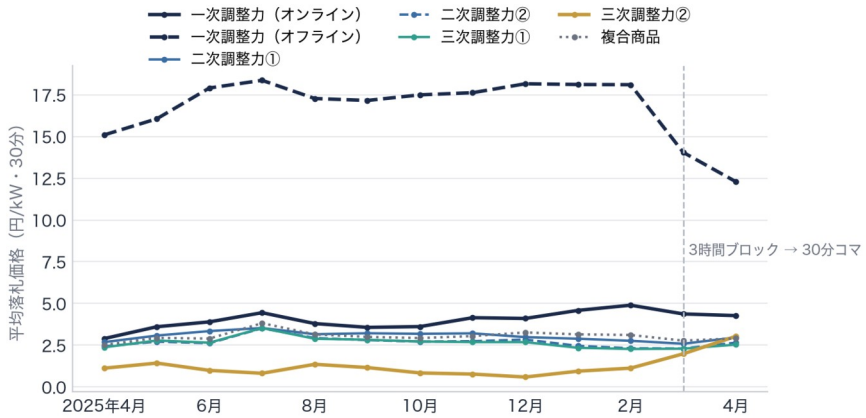


図 5　需給調整市場の商品ごとの平均落札価格（円/kW・30 分・月ごと）

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）。当社集計。

7. ① 需給調整市場（EPRX）｜1日のどの時間が高いか

2026年4月（1日～30日）の、商品ごとの1時間ごとの平均落札価格です。

需給調整市場の一次調整力（オンライン）の平均落札価格は、いちばん高い時間帯が18時台の5.37円、いちばん安いのが0時台の3.17円（円/kW・30分）でした。三次調整力②は、6時台の5.29円がいちばん高く、3時台の0.84円がいちばん安い（円/kW・30分）です。

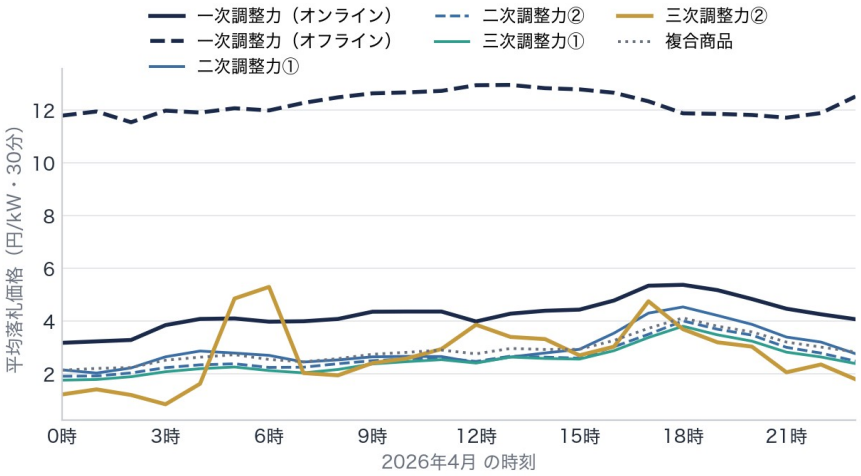


図6　需給調整市場の時間帯ごとの平均落札価格（2026年4月（1日～30日）・円/kW・30分）

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）。当社集計。

8. ① 需給調整市場（EPRX）｜蓄電池は、どの商品で使われているか

図は、落札された量のうち蓄電池が占める割合です。表は、蓄電池が落札した分の平均落札価格と、商品全体の平均落札価格を比べたものです。

需給調整市場の蓄電池の割合は、一次調整力（オフライン）98.2%、一次調整力（オンライン）22.0%、三次調整力②0.3%でした。蓄電池が落札した分の平均落札価格は、一次調整力（オンライン）9.02円（全体4.27円）、三次調整力②46.42円（全体3.03円）（円/kW・30分）です。

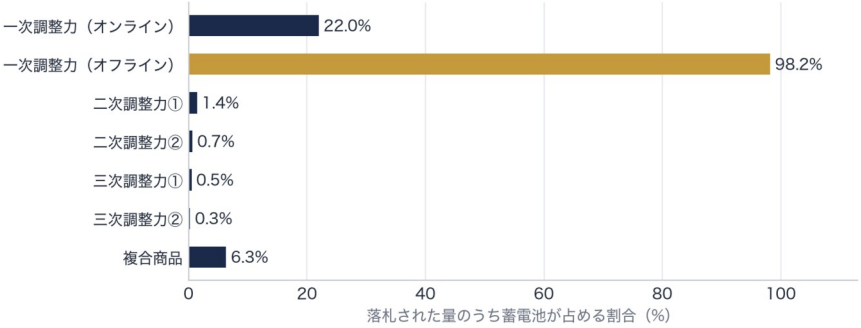


図7　需給調整市場で蓄電池が占める割合（%）

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）の電源種別別。当社集計。

商品	蓄電池が落札した分（円/kW・30分）	商品全体（円/kW・30分）
一次調整力（オンライン）	9.02	4.27

商品	蓄電池が落札した分（円/kW・30分）	商品全体（円/kW・30分）
一次調整力（オフライン）	12.25	12.29
二次調整力①	9.54	2.96
二次調整力②	9.91	2.65
三次調整力①	9.46	2.53
三次調整力②	46.42	3.03
複合商品	9.00	2.91

どちらも落札量で重みを付けた平均です（2026年4月・速報値・全国）。三次調整力②の蓄電池の分は、落札量の 0.3% しかなく、その多くが高値のコマの落札なので、平均が高く出ています。

9. ① 需給調整市場（EPRX）｜売上は、ごく一部のコマに集まる

その月の落札のあった30分コマを、売上（平均落札価格×落札量・全国）の多い順に並べ、上位のコマが月の売上の何%を占めるかを商品ごとに描きました。点線より上に膨らむほど、売上が少ないコマに集まっています。三次調整力②は、天気による再エネの発電の読み違いに備える商品で、値段は多くのコマで安く、ごく一部のコマで高くなります。

需給調整市場の売上の上位10%のコマが月の売上に占める割合は、三次調整力②が60.2%、一次調整力（オンライン）が16.0%でした。上位1%のコマでは、三次調整力②が9.0%、一次調整力（オンライン）が1.9%です。

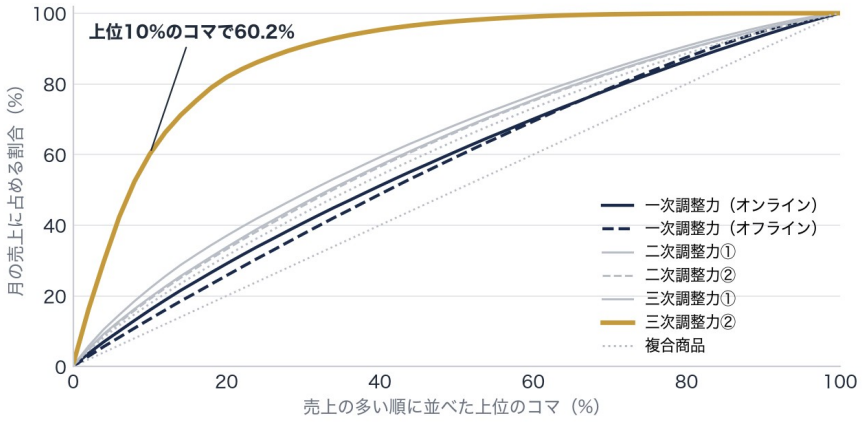


図8　需給調整市場の売上が上位のコマに集まる割合（2026年4月（1日〜30日）・全国）

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）。当社集計。

2026年4月、落札のあったコマ 1,259 のうち、売上（平均落札価格×落札量）の上位1%のコマが、月の売上の 8.3% を占めました。全国の平均落札価格が10円/kW・30分以上のコマは 72、落札の無かったコマは 181 です。

最高落札価格の高いコマ（電源のあるエリア別）：

日	時刻	エリア	最高落札価格（円/kW・30分）
4月1日	14時30分	中部	200.00

日	時刻	エリア	最高落札価格（円/kW・30分）
4月2日	11時30分	中部	200.00
4月2日	12時00分	中部	200.00
4月2日	13時00分	中部	200.00
4月2日	13時30分	中部	200.00

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の三次調整力②の取引結果（速報値）。当社集計。

10. ② 卸電気（JEPX）｜平均の値段

卸電気とは、電力会社や小売会社が売り買いする電気のことです。その値段は、日本卸電力取引所（JEPX）の「スポット市場」（前日に翌日の電気を売り買いする市場）で決まります。「システム（全国）」は、日本全体を1つの市場とみなしたときの値段（システムプライス）です。地域の間の送電線が混み合うと、北海道から九州までのエリアごとの値段（エリアプライス）が分かれます。

卸電気のシステム（全国）の月間の平均価格は、今月（2026年4月）が14.77円/kWh、前年同月が9.82円/kWhでした。

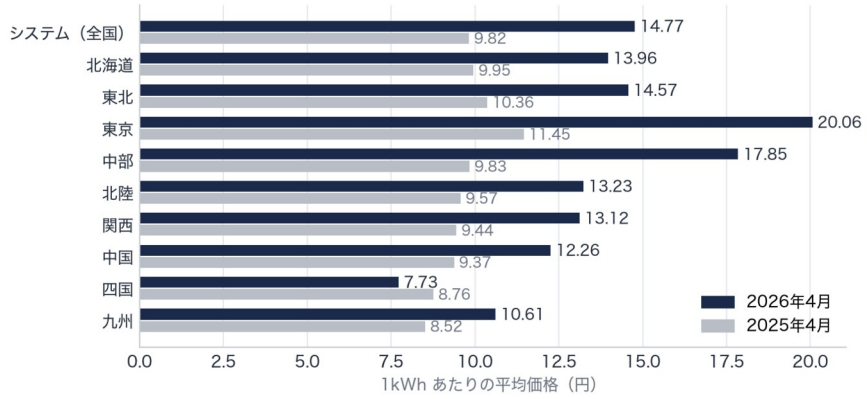


図9　卸電気の平均価格（円/kWh）。紺が2026年4月、灰が前年同月

出典: 日本卸電力取引所（JEPX）公表のスポット市場の取引結果。30分ごとの価格の単純平均。当社集計。

11. ② 卸電気（JEPX）｜値段は 1 日のなかでこう動く

卸電気の値段は 30 分ごとに変わります。図は、月の同じ時刻の価格を平均した 1 日の形です。安い時間に電気をため、高い時間に出せば、その差額が蓄電池の収入になります。

卸電気の 1 日の平均は、東京・九州とも 12 時 30 分台が谷、18 時 30 分台が山で、東京は 11.42 円/kWh と 33.06 円/kWh、九州は 3.50 円/kWh と 17.19 円/kWh でした。

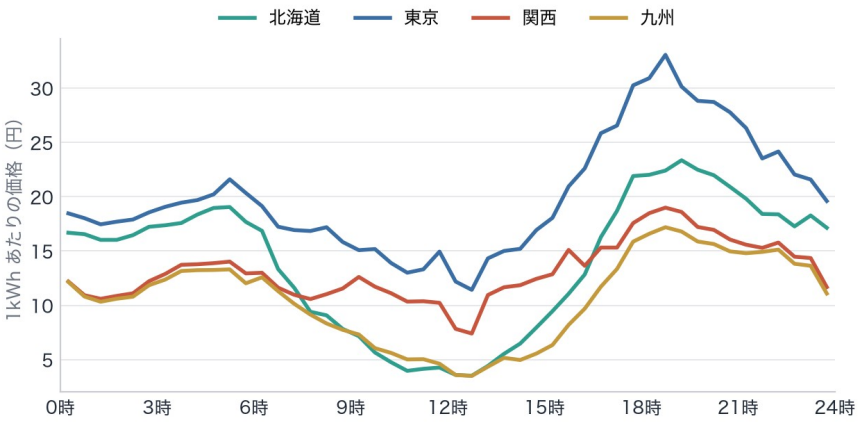


図 10　卸電気の 1 日の価格の山と谷（2026 年 4 月 の平均・円/kWh）

出典: JEPX スポット市場。当社集計。

12. ② 卸電気（JEPX）｜値差は 1kWh あたりいくらか

その日いちばん高い 4 時間の平均価格から、いちばん安い 4 時間の平均価格を引いた差を、エリアごとに月平均で並べました。1kWh を安い 4 時間に買って高い 4 時間に売ったときの、1kWh あたりの差額に当たります。充放電で失う電気や手数料は引いておらず、安い時間と高い時間の順番も問わない単純な差です。

卸電気の高い 4 時間と安い 4 時間の値差の月平均は、エリア別でいちばん大きいのが東京の 23.12 円/kWh、いちばん小さいのが四国の 9.41 円/kWh でした。

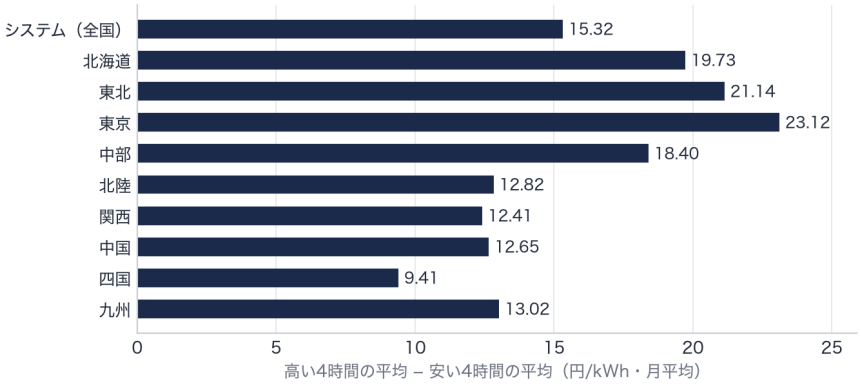


図 11　卸電気の値差: 高い 4 時間の平均 – 安い 4 時間の平均（2026 年 4 月・円/kWh・月平均）

出典: JEPX スポット市場。当社集計。

エリア	2時間の値差（円/kWh）	4時間の値差（円/kWh）	4時間の値差が10円以上の日
システム（全国）	16.89	15.32	24
北海道	21.76	19.73	26
東北	23.11	21.14	26
東京	28.72	23.12	29
中部	20.67	18.40	27
北陸	14.74	12.82	20
関西	14.29	12.41	20
中国	14.31	12.65	20
四国	10.82	9.41	11
九州	14.07	13.02	21

値差は日ごとの差の月平均です。2026年4月は30日分です。

13. ② 卸電気（JEPX）｜値差は毎日ある

同じ4時間の値差を、日ごとに並べました。差が大きい日ほど、蓄電池が値差で稼げる余地が大きくなります。

卸電気の4時間の値差が10円/kWh以上の日は、システム（全国）で30日のうち24日でした。エリア別でいちばん多いのは東京の29日、いちばん少ないのは四国の11日です。

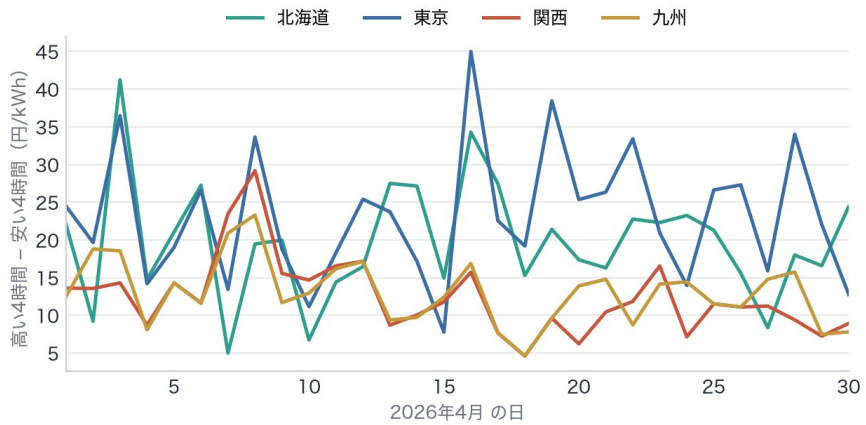


図12　卸電気の日ごとの値差（その日の高い4時間の平均 − 安い4時間の平均・円/kWh）

出典: JEPX スポット市場。当社集計。

14. ③ 容量市場（OCCTO）｜将来の供給力を買う市場

容量市場は、4 年先の電気の供給力を年 1 回の入札で買う市場で、価格は kW あたり・1 年の円で決まります。左の図は、これまでのメインオークションの約定価格です。右の図は、長期脱炭素電源オークション（蓄電池・揚水などの新設を支える別の入札）で約定した蓄電池・揚水の容量です。年に 1 回の公表なので、毎月は変わりません。最新は実需給 2029 年度（2026 年 1 月公表）です。

容量市場メインオークションの東京の約定価格は、実需給 2024 年度 14,137 円/kW、2025 年度 3,495 円/kW、2029 年度 15,111 円/kW でした。長期脱炭素電源オークションの蓄電池・揚水の約定容量は 2025 年度応札でリチウムイオン 81.9 万 kW、リチウム以外 88.6 万 kW で、どちらも年 1 回の最新の公表のため毎月は変わりません。

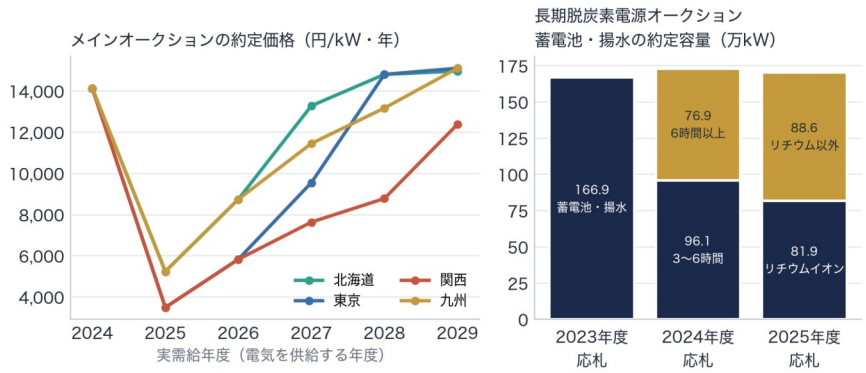


図 13　容量市場の約定価格（左・円/kW）と、長期脱炭素電源オークションの蓄電池・揚水の約定容量（右・万 kW）

出典: 電力広域的運営推進機関（OCCTO）公表の約定結果・容量確保契約の資料（出所は最終ページ）。公表のまま。

15. 当社の記録｜蓄電所の案件は、どこに増えているか

この月は、当社の棚 DealRoom2 を始める前（2026 年 5 月から）なので、記録がありません。

16. 当社の記録｜系統につなぐのに、何か月・いくらかかるか

接続検討とは、送配電会社に「この場所につなげるか、工事にいくらかかるか」を調べてもらう手続きです。負担金は、つなぐ工事のうち申込む側が負担する費用です。当社が受け取った回答書のうち、高圧（6,600V の配電線につなぐもの）の分だけを管区別に集計しました。特別高圧は含めていません。5 件未満の管区は載せていません。

接続検討の回答（高圧だけの集計・2026 年 10 月 19 日時点）の中央値は、工期がいちばん短い東京 8.0 か月、いちばん長い東北 17.0 か月でした。負担金はいちばん小さい東京 3.02 百万円、いちばん大きい東北 32.35 百万円です。

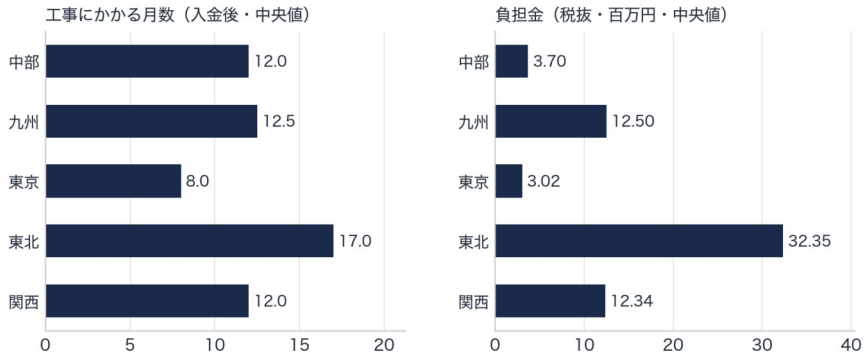


図 15　接続検討の回答（高圧）の管区別の中央値（左: 工事にかかる月数、右: 負担金・税抜）

出典: 当社が受け取った一般送配電事業者の接続検討回答書のうち高圧の分（2026 年 10 月 19 日 時点）の集計。

17. 市場の数字（資料にそのまま使える表）

本文の図の元になった数字を、資料に使えるよう表にしました。①需給調整市場の商品ごとの全国の数字（応札倍率・約定率・価格・蓄電池の割合）、②卸電気（JEPX）のエリア別の数字と取引量、③容量市場の約定価格です。

需給調整市場（2026 年 4 月・速報値・全国）

商品	募集量（MW）	応札量（MW）	落札量（MW）	応札倍率（応札÷募集）	約定率（落札÷応札）	平均落札価格（円/kW・30分）	蓄電池の割合
一次調整力（オンライン）	1,598.4	1,187.4	1,041.7	74.3%	87.7%	4.27	22.0%
一次調整力（オフライン）	500.6	154.8	132.3	30.9%	85.5%	12.29	98.2%
二次調整力①	1,385.2	2,046.6	1,226.1	147.7%	59.9%	2.96	1.4%
二次調整力②	1,452.3	3,098.5	2,306.9	213.3%	74.5%	2.65	0.7%

商品	募集量（MW）	応札量（MW）	落札量（MW）	応札倍率（応札÷募集）	約定率（落札÷応札）	平均落札価格（円/kW・30分）	蓄電池の割合
三次調整力①	3,446.8	4,956.2	3,381.0	143.8%	68.2%	2.53	0.5%
三次調整力②	861.7	1,926.8	793.2	223.6%	41.2%	3.03	0.3%
複合商品	4,276.4	5,259.2	3,681.3	123.0%	70.0%	2.91	6.3%

量は 30 分コマあたりの平均です。応札倍率が 100%未満の商品は、募集に対して応札が足りていません。約定率は、応札した量のうち落札された量の割合です。

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）と電源種別別の取引結果。当社集計。

卸電気・JEPX スポット市場（2026 年 4 月・エリア別・円/kWh）

エリア	月平均	前年同月	日中（8〜16 時）	夕方（16〜20 時）	4 時間の値差	最高	30 円以上のコマ	0.01 円のコマ
システム（全国）	14.77	9.82	9.20	20.31	15.32	35.00	21	89
北海道	13.96	9.95	6.18	20.00	19.73	50.00	37	184
東北	14.57	10.36	6.37	21.08	21.14	50.00	54	184
東京	20.06	11.45	15.16	28.53	23.12	64.28	159	28
中部	17.85	9.83	12.88	22.72	18.40	44.70	92	58
北陸	13.23	9.57	11.47	17.00	12.82	44.70	32	60
関西	13.12	9.44	11.19	16.89	12.41	37.54	22	61
中国	12.26	9.37	9.18	15.86	12.65	37.54	7	82
四国	7.73	8.76	4.79	8.99	9.41	31.03	2	169
九州	10.61	8.52	5.71	14.63	13.02	35.00	1	180

取引量（2026 年 4 月・30 日分の合計）：約定総量 27,138 百万 kWh（前年同月 20,785 百万 kWh）、売り入札量 44,311 百万 kWh、買い入札量 33,363 百万 kWh。

出典: 日本卸電力取引所（JEPX）公表のスポット市場の取引結果。価格は 30 分コマの単純平均。当社集計。

容量市場メインオークションのエリアプライス（円/kW・年）

実需給年度	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
2024 年度	14,137	14,137	14,137	14,137	14,137	14,137	14,137	14,137	14,137
2025 年度	5,242	3,495	3,495	3,495	3,495	3,495	3,495	3,495	5,242
2026 年度	8,749	5,833	5,834	5,832	5,832	5,832	5,832	5,832	8,748
2027 年度	13,287	9,044	9,555	7,823	7,638	7,638	7,638	7,638	11,457
2028 年度	14,812	14,812	14,812	10,280	8,785	8,785	8,785	8,785	13,177
2029 年度	14,972	15,111	15,111	12,388	12,388	12,388	12,388	12,388	15,112

© Science X Inc. · https://www.scix.co.jp

ScienceX

長期脱炭素電源オークションの蓄電池・揚水の約定容量（万 kW）

応札年度	区分	約定容量（万 kW）
2023 年度応札	蓄電池・揚水	166.9
2024 年度応札	3〜6 時間	96.1
2024 年度応札	6 時間以上	76.9
2025 年度応札	リチウムイオン	81.9
2025 年度応札	リチウム以外	88.6

出典: 電力広域的運営推進機関（OCCTO）公表の約定結果・容量確保契約の資料（出所は最終ページ）。公表のまま。

© Science X Inc. ・ https://www.scix.co.jp

18. 前提と用語

・数字は出典の公表値から当社が集計したものです。複数の月を合計したり、年に換算したりはしていません。蓄電所 1 か所の収益の額は載せていません。

・対象の月: 需給調整市場（EPRX）は 2026 年 4 月 の速報値（受渡日が 30 日までの分）、卸電気（JEPX）は 2026 年 4 月（30 日分）です。需給調整市場は、2026 年 4 月分の公表値が集計に入るまで月が異なります。

・需給調整市場: EPRX の速報値の全国（合計の列）。募集量は送配電会社（TSO）別、応札量・落札量・平均落札価格は電源のあるエリア別の値。量は 30 分コマあたりの平均。平均落札価格は落札量で重みを付けた平均。応札倍率＝応札量÷募集量、約定率＝落札量÷応札量。2026 年 3 月 13 日までの 3 時間ブロックは、1 ブロックを 30 分コマ 6 つとして数えました。

・落札価格の幅: 細い線は、その月の落札のあったコマのうち、いちばん安い札（最低落札価格）からいちばん高い札（最高落札価格）まで（電源のあるエリア別の公表値）。一次調整力（オンライン）・二次調整力①②・三次調整力①の公表値には複合商品の札（複数の商品をまとめた 1 つの値段）も入るため、一次調整力（オンライン）と二次調整力①は上限価格の 15 円（2026 年 8 月 31 日の受渡分まで）、二次調整力②・三次調整力①は 10 円を超え、同じコマ・エリアの複合商品の札で説明できる札は細い線から除きました。一次調整力（オフライン）は、上限価格（この月は 15 円）を超える札（需給調整市場のシステムは上限を超える札も約定させ、精算で上限に切り下げます）を細い線から除きました。太い帯は、落札のあったコマの平均落札価格を安い順に並べたときの下から 10%〜90%の幅。点は落札量で重みを付けた平均。

・管区×時刻の約定率: 月の同じ時刻のコマの落札量の合計÷応札量の合計（電源のあるエリア別）。

・需給調整市場の商品の、指令から出力を変えるまでの時間と続ける時間は、2026 年度の仕様です。一次調整力のオンラインは送配電会社と専用線でつなぐ枠、オフラインは専用線を引かずに簡易指令システムで動く枠です。

・三次調整力②の高値のコマ: 全国の平均落札価格が 10 円/kW・30 分以上のコマ。上位 1%は、売上（平均落札価格×落札量）の多い順に並べた上位 1%のコマ。最高落札価格は、電源のあるエリア別の公表値です。

・平均価格は 30 分コマの単純平均（取引量による重みなし）。日中は 8〜16 時、夕方は 16〜20 時のコマ。

・値差: その日の 30 分コマを価格の順に並べ、高い 8 コマ（4 時間）の平均から安い 8 コマの平均を引いた差（2 時間は 4 コマ）。安い時間と高い時間の順番、充放電で失う電気、手数料・税・託送の費用は見ていません。実際の収益を示すものではありません。

出典（OCCTO・容量市場の約定結果）: 実需給 2024 年度

https://www.occto.or.jp/iinkai/youryou/kentoukai/2020/files/youryou_kentoukai_27_05.pdf／実需給 2025 年度

https://www.occto.or.jp/iinkai/youryou/kentoukai/2021/files/youryou_kentoukai_35_03_1.pdf／実需給 2026 年度

https://www.occto.or.jp/iinkai/youryou/kentoukai/2022/files/youryou_kentoukai_43_03.pdf／実需給 2027 年度

https://www.occto.or.jp/market-board/market/oshirase/2023/files/240124_mainauction_youryouyakujokekka_kouhyou_jitsujukyu2027.pdf／実需給 2028 年度

https://www.occto.or.jp/market-board/market/oshirase/2024/files/250129_mainauction_youryouyakujokekka_kouhyou_jitsujukyu2028.pdf／実需給 2029 年度

https://www.occto.or.jp/assets/news/capacity-market/260120_mainauction_youryouyakujokekka_kouhyou_jitsujukyu2029.pdf

出典（OCCTO・長期脱炭素電源オークション）：2023 年度応札 https://www.occto.or.jp/assets/260605_auction_keiyakujyoukyou_kouhyou.pdf／2024 年度応札 https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/files/longauction_keiyakukekka_2024.pdf／2025 年度応札 https://www.occto.or.jp/assets/various/capacity-market/jitsujukyukanren/yoryokakuhokeiyaku/longauction_keiyakukekka_2025.pdf

・容量市場の約定結果は、実需給年度ごとに別の年に公表されています（2024 年度分は 2020 年、2029 年度分は 2026 年 1 月）。長期脱炭素電源オークションの蓄電池の件数は、公表の集計表に載っていないため示していません。

出典: 日本卸電力取引所 JEPX スポット市場の取引結果／電力需給調整力取引所 EPRX の取引結果（速報値）と電源種別別の取引結果／電力広域的運営推進機関（OCCTO）の容量市場メインオークション約定結果と長期脱炭素電源オークションの容量確保契約の資料／当社が受け取った接続検討回答書の集計／当社 DealRoom2 の記録。

用語: システムプライス（システム・全国）＝日本全体を 1 つの市場とみなしたときの卸電気の値段。エリアプライス＝送電線の混み具合でエリアごとに分かれた値段。系統＝電力会社の送電網。系統連系＝送電網につなぐこと。MW＝電力の大きさ（1MW＝1,000kW）。MWh＝ためられる電気の量。円/kWh＝電気 1kWh あたりの値段。

サイエンスエックス株式会社　https://www.scix.co.jp　お問い合わせ s@scix.co.jp

ニュースレター「系統用蓄電池の一次データ」：
https://www.linkedin.com/newsletters/7521830530569445376/

図表や数値は、出典を明記すればお使いいただけます（引用ガイド https://www.scix.co.jp/press）。